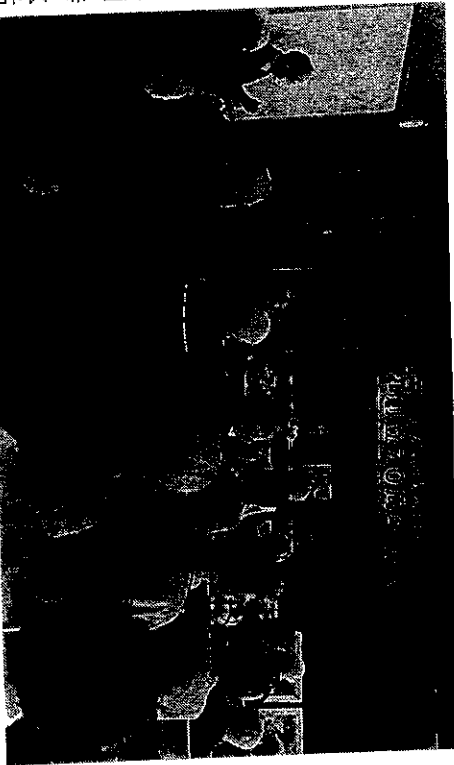


社会福祉法人千歳厚生事業団が運営する養護老人ホームのひかり隣保館が1日に70周年を迎え同日に記念式典を同施設大広間で開いた。施設利用者が多数出席し半世紀を超えの福祉事業を称えた。渡部昭理事長は「先達が貧困の時代から人間の尊厳を守り続け、その情熱を引き継ぎ福祉のためにきた」とあいさつした。

## ひかり隣保館 高齢者福祉と 幼児保育に従事



70周年を祝う式典が開かれた

しつらも16日70周年を迎える。今もなお、虐待や認知症など自宅で生活が困難な高齢者受け入れに積極的に取り組む。ここが最後の砦のつもりで運営している。高齢者の権利を守り、安全安心な生活を送ってもらいたい」と施設長の佐藤高吉さん。70年にわたり、初志を貫く。利用者への福祉充実に努め、昭和38、39年には天皇陛下から褒賞が授けられた。この「福祉は年金だけでない。修繕には苦勞するが、利用者の皆さんのために最善を尽くしたい。」と佐藤さんも「お総やき」70年。これを記念し、100年と利用者を支えるのが役員だ。職員の士気も高く掲げる「福祉の心」は二世の歴史を刻みとしていく。

た。ここに来てよかったですと話す。設立から70年、40年は前から改修を繰り返す。近年再び老朽化の課題が浮上。渡部理事長は「福祉は年金だけではな

# 顔 顔 顔

渡部 昭さん



No.654

## 高齢者福祉の先駆者

70周年を迎えた養護老人ホームのひかり隣保館を世として、平成7年の特別養護老人ホーム建設に尽力。その近く、隆昌園になってきた。「社会福祉法人とは、先ず、高齢化社会を向き合ってきた。「地域が決して自身の切なさを、ボクシングとして支えてくれたらがある。」その隣には併走かいた黒子の影があった。多くの支年、41歳のときに赴任。30代でヨーロッパ研修に参加し、世界と日本の社会福祉にみることに「それだの差を肌身に感じた。どの団体に声掛けし、理解を導くはいたった。うして日本の福祉の現場は暗いのか。答えを探すと「ひかり隣保館で様々なと「いやいや、皆さんが応援してくれた。皆さんが事業を立ち上げた。ホト、懐いてくれた。皆さんが、懐いてくれた。誰にも楽しんで来ると場所を作頭の前垂れには、誰にも、外出て好きな食事がなせなけりやあまに違でできる「お好み外食」にもいない。(社会福祉法人千歳厚生事業団理事長 83歳 流山) (二六)